

各位

全社集会「One Payroll Summit Tokyo 2026」を契機に、 AI時代の「HR BPaaS」進化を加速 ～全国の社員約600名が一堂に集結し、次なる成長戦略を共有～

給与計算サービス「HR BPaaS（エイチアールビーパース）」を提供する株式会社ペイロール（本社：東京都江東区、代表取締役社長 CEO：湯浅哲哉、以下：ペイロール）は、2026年3月、全国の正社員約600名が一堂に会する全社集会「One Payroll Summit Tokyo 2026」を開催いたしました。

本イベントは、実に17年ぶりの開催となり、ペイロールはこれを契機として、AI時代における「HR BPaaS」の進化と顧客価値創出の高度化に向けた取り組みを全社一丸で推進しています。



開催の背景と現在の取り組み

ペイロールはこれまで、従業員数1,000名以上のエンタープライズ企業を中心に「HR BPaaS」を提供し業界をリードしてまいりました。高い専門性と安定したオペレーション力を強みに、多くの企業の人事基盤を支えています。

一方で、人的資本経営の重要性の高まりやAI技術の進展にともない、HR領域に求められる役割は大きく変化しています。ペイロールはAIによる業務効率化を単なる生産性向上にとどめず、創出されたリソースを顧客の本質的な課題に向き合う提案力の

強化へと転換してまいります。

本イベントで共有された方針のもと、現在ペイロールではAI活用による業務変革を全社的に推進しており、次の成長ステージに向けた取り組みを加速させています。

全社集会「One Payroll Summit Tokyo 2026」の概要

本イベントでは、経営戦略から現場の取り組みまでを横断的に共有するプログラムを実施しました。

- ・ 代表取締役社長 CEO 湯浅による前期振り返りおよび中期ビジョンの発信
- ・ 副社長執行役員 COO 齋藤による来期ビジネス戦略の共有
- ・ 上席執行役員原による来期プロダクト戦略の共有
- ・ 各部門によるブースセッション（全5テーマ）
- ・ 全社表彰（アワード）

ブースセッションでは、各部門のプロジェクト、顧客満足度向上への取り組みや社内DXなど、実務に直結するテーマが共有され、部門間で互いに理解を深めました。



全社一体での価値創出へ

本イベントを通じて、社員一人ひとりが「企業価値の創出主体である」という意識を改めて共有しました。ペイロールは今後も給与計算にとどまらない「HR BPaaS」の提供を通じて、企業の人的資本経営を支援し続けてまいります。

株式会社ペイロールについて

1989年4月1日設立。創業以来、主にエンタープライズ企業を対象として給与計算業務のBPO（ビジネス・プロセス・アウトソーシング）を提供しており、257社114万人（2026年3月末時点）の給与計算業務を受託しています。ペイロールの汎用型給与計算サービス「HR BPaaS」は、独自開発したクラウド人事給与ソフトと給与計算BPOを統合したサービスで、お客様固有の複雑な給与計算ロジックに対応しつつ、全てのお客様で共通する業務の標準化を推し進めることで、高い柔軟性と拡張性を併せ持っているところが特徴です。

労働人口が不足していく日本において、ペイロールは、人事部が抱える専門性の高いオペレーション業務を担うソフトインフラ企業となり、人事部がより戦略的な業務に注力できる環境を支えます。

【お問い合わせ窓口】

株式会社ペイロール 広報

pr@payroll.co.jp

TEL: 03-5520-1403